



リサイクル工程における回収資源例

- 本社所在地：静岡県富士市
- 事業概要：リチウムイオン電池リサイクル業
- 常時使用する従業員：18名
(2026年4月時点)
- 現在の売上高：17億円
(2025年6月期)
- 法人番号：3080101020275
- Web：<https://www.env-volta.jp/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
北詰 一隆

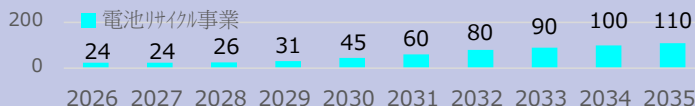
LIBサーキラーエコミーにおいて日本に無くてはならない存在になる

リチウムイオン電池リサイクル市場は、電動化や脱炭素社会の進展を背景に、量・質の両面で中長期的な成長が見込まれています。当社はエンビプログループの一員として、再生可能エネルギーの活用を含む環境配慮型の事業運営と物理選別を軸とする前処理技術を強みとし、国内外におけるリチウムイオン電池クローズドループリサイクルの中核を担うことを目指しています。売上高100億円規模の事業体制の確立は、単なる企業規模の拡大ではなく、循環経済の実装を通じて社会的要請に応えるための節目と考えています。今後も関係事業者との連携や技術基盤の強化を通じ、持続可能な資源循環インフラの構築に貢献してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2034年に売上高100億円を達成し、集荷量増加に対応し処理能力拡張を推進し、車載用リチウムイオン電池廃材および使用済の廃棄電池を広域的に集荷する体制を構築します。



課題

- ・新工場の新設による再資源化処理能力の更なる向上
- ・使用済電池の安定的かつ継続的な回収体制の確立
- ・高度化する品質要求およびトレーサビリティ要件への対応
- ・国内外市場における競争環境の激化への適切な対応
- ・処理能力拡大に伴う設備投資および専門人材の確保・育成
- ・安全性と環境対応を両立させた持続的な事業運営体制の構築

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・既存拠点および新設拠点における破碎・選別設備の高度化を推進し、車載用を中心とした大型リチウムイオン電池の処理能力を計画的に拡充
- ・国内複数拠点においてブラックマス製造体制を段階的に整備し、製錬事業者との安定的かつ長期的な供給関係を構築
- ・電池メーカーや自動車メーカー等との連携を強化し、品質管理およびトレーサビリティを重視したクローズドループ型リサイクルへの対応を拡大

実施体制

当社は、100億円規模の事業成長を着実に実行するため、代表取締役をトップとする推進体制を整備しています。事業部が全体統括を担い、新規事業、営業、製造、品質、物流、管理の各部門が役割分担のもと連携し、設備投資や事業拡張を計画的に推進します。また、グループ会社および関係事業者との協働を通じ、安定的な原料調達、品質対応、人材確保を実現し、持続可能な事業運営体制の構築を図ります。

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです